

平成29年3月21日

保護者 様

尼崎市立立花西小学校
校長 米田 浩

平成28年度学力・学習状況調査結果の概況について

春陽の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育の推進にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、年度末にあたり、平成28年4月に実施しました6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果に基づいて、本校の学力についてまとめました。本年度の結果を元に、次年度も学力向上に向けて取り組みを進めたいと考えております。次年度も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 各教科の概要（平均正答率の全国平均との比較）

各教科の平均正答率を見ると、すべてで全国を上回っています。

【国語A：主として知識】では、3ポイント上回っています。

【国語B：主として活用】では、3ポイント上回っています。

【算数A：主として知識】では、5ポイント上回っています。

【算数B：主として活用】では、5ポイント上回っています。

2 各教科の観点別・領域別の状況（全国平均との比較）

【国語A】観点別では、「話す・聞く」、「書く」、「読む」、「言語事項」とも全国平均より高く、「書くこと」では4ポイント、「読むこと」では6ポイント上回っています。「漢字を読む」においては12ポイント、「複数の叙述を基にして捉える設問」では10ポイント、「表現の仕方をよりよくするために助言する設問」では5ポイント上回っています。これは、国語科を中心に学力向上を図っている成果だと思えます。

逆に、「ローマ字表記に関する設問」では、若干全国平均を下回るものがありましたので、今後の課題としたいと思います。

【国語B】観点別では、すべての観点で全国平均より高く、特に「書くこと」では、3ポイント、「読むこと」では5ポイント上回っています。さらに、「目的に応じて質問したいことを整理する設問」では9ポイント、「内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む」設問では12ポイント上回っています。これは、読書力向上に力を入れている成果だと思えます。

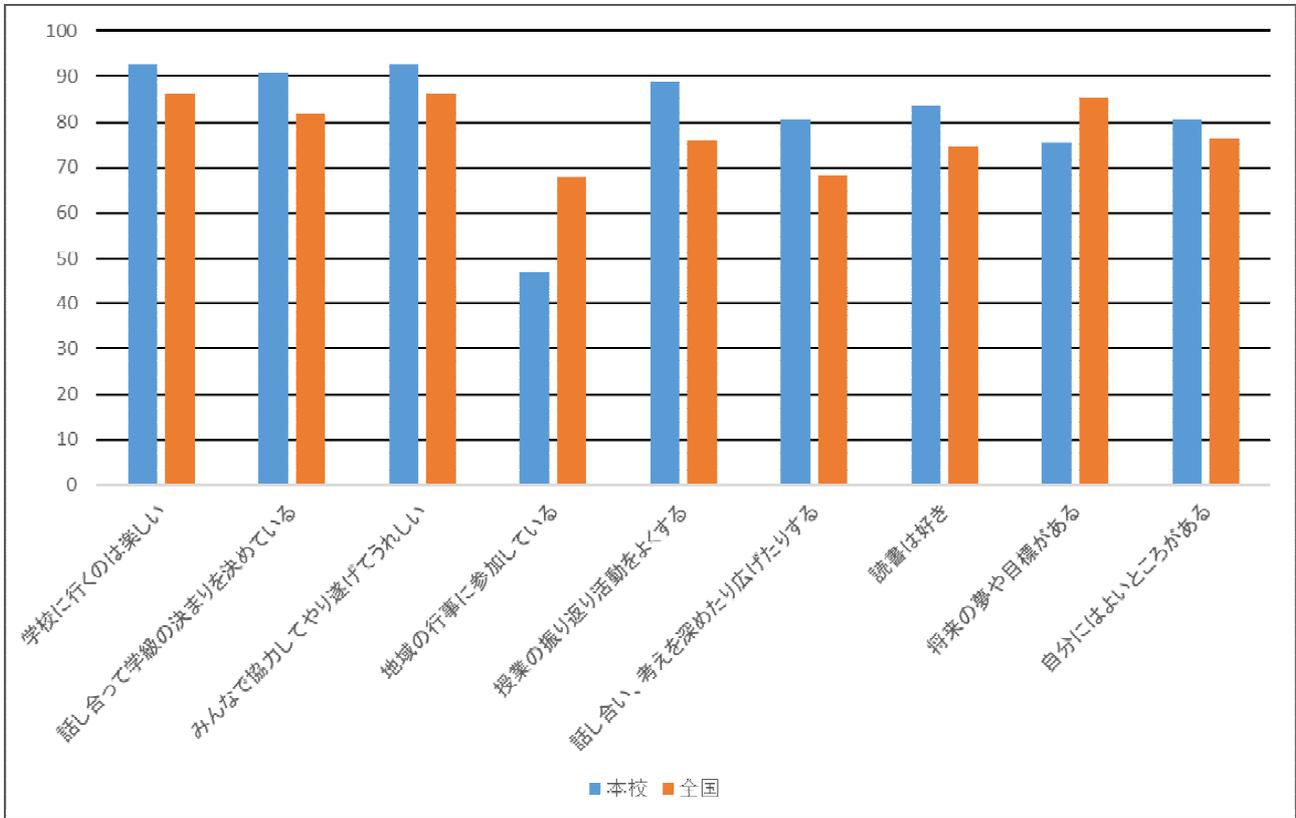
【算数A】観点別では、すべての観点で全国平均を上回っており、特に「数量関係」では、10ポイントも上回っています。「単位量当たりの大きさを求める設問」、「全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の設問」、「1を超える割合を百分率で表す設問」では、10ポイント以上全国平均を上回っています。しかし、「除数が1より小さいときの商が被除数より大きくなること」や「繰り下がりのある引き算」の設問で若干低い結果が出ています。今後、基礎基本の定着をしっかりと行っていきたいと思います。

【算数B】領域別では、「数と計算」、「量と測定」、「図形」、「数量関係」のすべてで全国を3～7ポイント上回っています。特に「縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができる訳を書く設問」では14ポイント、「示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ設問」では12ポイント、「図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断する設問」では8ポイントも全国平均を上回っています。これは、日頃根拠を基に話し合う学習を取り入れている成果だと思えます。

3 学習状況調査について

学習状況調査は、児童が学校や家庭でのようすについて、アンケート項目に答えた割合（％）です。学習関係についての意識では全国レベルですが、「地域の行事によく参加する」、「将来の夢や目標がある」割合が例年低いのが気になります。実際には、本校の児童は低学年から高学年まで、よく地域の行事に参加していると思いますし、夢も語ってくれるのですが・・・。

－「子どもの意識や生活」の全国との比較－



今後とも、学校と家庭と地域でしっかり連携して、児童の学力を高め、健全に育てていくため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4 学力向上に向けての学校の取り組み

(1) 支援体制を充実する

今年度の学力・生活実態調査の結果から見えてきた本校児童の弱い点を克服し、さらなる学力向上をめざすため、職員間で課題を共有し、系統立てた指導を再確認しました。年々成果も上がっているため、次年度も低学年には教育支援員を中心に教科指導における支援を行います、中学年には「放課後学習」を充実させるとともに、高学年へとスムーズにつながるよう学習習慣の確立を図ります。高学年には、新学習システムの教員を配置し、算数の少人数指導や理科・社会などで教科担任制をとるなど、指導方法の工夫や充実を図り、分かる授業の実現に努めてまいります。

(2) 学習意欲を高める

校内研究において、自主学習ノート、家庭学習の習慣化の重要性を確認しましたので、次年度も引き続き実施いたします。さらに、タブレットPCや実物投影機などのICT機器を活用した学習や児童の主体的・対話的な深い学習を促すための効果的な学習方法について研究してまいります。

(3) 学力補充の機会を確保する

毎週木曜日を学力補充の日とし、学級で担任による学力補充を行ったり、中学年は週2回の放課後学習を行ってきました。放課後学習は家庭学習の定着に成果を上げています。「ぐんぐん伸びる個別学習ドリル」の活用とともに、次年度も引き続き実施していきたいと考えています。